

平成 24 年度広島市民球場運営協議会 会議要旨

1 開催日時

平成 25 年 3 月 19 日（火） 16：00～17：00

2 開催場所

広島市役所本庁舎 14 階 第 7 会議室

3 出席者

(1) 委員（17 名）

城納 一昭、深山 英樹、西川 正洋、加藤 義明、山根 恒弘、山本 治朗、
青木 暢之、山本 一隆、石井 一清、中原 律子、石井 健一郎、川瀬 啓子、
曾根 幹子、下中 奈美、近藤 敏博、部谷 京子、松田 元

(2) 広島市

松井市長（挨拶後退席）、荒本副市長
西岡都市整備局長、竹内都市機能調整部広島駅周辺地区整備担当部長
甲田市民球場調整担当課長

(3) 株式会社広島東洋カープ

桂顧問

4 議題

- (1) 広島市民球場の運営状況等について
- (2) 平成 24 年度施設利用実績について
- (3) 2012 年カープ球団の事業実績について
- (4) 命名権について
- (5) その他

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

一般傍聴者	6 名
報道関係者	6 社

7 会議資料

- (1) 次第
- (2) 配席表
- (3) 委員名簿
- (4) 平成 24 年度広島市民球場運営協議会資料及びその参考資料

8 会議要旨

委員定数 20 名のうち出席者 17 名であり、定数の過半数を超えているため、協議会が有効に成立していることを事務局が説明し、会長（深山委員）及び副会長（山根委員）を選任した後、議題を説明。

<議事>

事務局： 只今から、平成 24 年度広島市民球場運営協議会を開催いたします。皆様方にはご多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は、のちほど会長に議事進行をお願いしますまでの間、進行を務めさせていただきます、広島市都市整備局広島駅周辺地区整備担当部長の竹内でございます。よろしくお願いします。それでは、開会にあたりまして、松井広島市長からご挨拶を申し上げます。

市長： 広島市民球場運営協議会の開催に当たり、一言ご挨拶をさせていただきます。委員の皆様には、平素から本市の市政推進にご理解、ご協力を賜っており、心からお礼を申し上げます。

さて、マツダスタジアムは、今年のシーズン終盤でクライマックスシリーズ進出するかということで大いに盛り上がりましたが、惜しくも 4 位ということで、今年は頂上を目指して頑張るということを期待しております。

ご承知のとおり、多くのファンにご来場いただいております、球場オープン以来、年間 150 万人という観客動員数をキープしております。これは、松田オーナーをはじめ、経営者の方の努力の成果だと思います。今年はサンフレッチェに続き、優勝できるように頑張っていたきたいと思います。

このような中で、多くの来客を呼び込むための様々な工夫をされておるということは、皆様ご存じだと思います。砂かぶり席やウッドデッキ席、寝ソベリヤ、それから他の球場にない施設がたくさんあります。これらは、すべて広島東洋カープのご尽力の賜物であります。今年は、新幹線側にグループで楽しめる席が誕生するという事で、野球だけではなく、パーティーも楽しめるという施設が整ってくるという事でございます。それと同時に、様々なお客様に来場いただくという事で、バリアフリー化ということも力を入れておりまして、車椅子を利用される方、高齢者、小さなお子様など様々な方に来場いただくという事で、エレベーターの増設を来シーズン行ってまいります。これは、本市の予算を執行するという事で、議会の了解を得られるよう審議に諮

っています。今後も球場の魅力アップを行っていかないと思っております。

それと御承知のとおり、球場の周りの施設群も徐々に整備が整ってきております。これらも球場と一緒にこのエリアが活性化されることがポイントになってくると思いますが、球場東側のほうでは、昨年9月に球場のコンコースと直接つながるスポーツクラブ「ルネサンス」ができました。そして、今週末の23日には、「コストコ」が営業を開始します。それから、来年の2月には分譲マンションが竣工を予定しております。いずれにしても球場周辺のにぎわいづくりということで、球場周辺のみならず全体での集客を高めるということをやっていく必要があると思います。施設群が整えば、魅力ある広島駅周辺の都市整備が整うと思います。

そして、もう一つは、平成27年度の完成を目指しまして、広島駅前のBブロック、Cブロックの再開発というものも着実に進んでおります。広島の都市のコアとなる紙屋町・八丁堀と一緒に、広島の陸の玄関の活性化を目指した再整備を現在、取り組んでいますので、併せて、マツダスタジアムでの様々な整備や集客に向けた工夫というものをこれからも続けてもらいたいと思います。

本日は、球場の運営状況や施設利用実績などについて、ご報告させていただきたいと思います。皆様の声を今後の球場運営に活かし、より魅力ある市民球場にしたいと考えていますので、ご意見やご要望をお聞かせいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局： ありがとうございます。引き続きまして、委員の皆様のご紹介でございます。

本協議会は、球場の運営に関する報告、審議などを行うことを目的として、委員20名で構成されています。時間の関係もございますので、皆様のご紹介はお手元の「委員名簿」に代えさせていただきます。

なお、本日は、山下委員、高木委員、金井委員の3名の方は、所用によりご欠席となっております。

本協議会は、委員の過半数の出席により成立することになっております。本日は、20名のうち17名の方にご出席いただいておりますので、有効に成立していますことをご報告させていただきます。

次に、事務局の職員につきましては、荒本副市長以下、担当の職員はお手元の「配席表」のとおり出席しております。また、本日は、議題の関係上、株式会社広島東洋カープの桂顧問にも、事務局側に出席をいただいております。

ここで市長は、所用がございますので、退席させていただきます。

事務局： それでは、まず、お手元にお配りしております資料の確認をお願いします。

本日の「次第」、「配席表」、「委員名簿」、それと別綴じの「平成24年度広島

市民球場運営協議会資料」及びその「参考資料」となっております。

本日の会議は、お手元の次第に沿って進めてまいりたいと考えております。それでは、まず、会長、副会長の選任でございます。この度の運営協議会は、委員改選後の初めての開催となりますので、まず、会長、副会長の選任を行っていただきたいと思います。お手元の参考資料の1ページをご覧ください。広島市民球場条例施行規則第7条第5項では、協議会に会長及び副会長を各1人を置き、委員の互選によりこれを定めるとあります。どなたか会長に立候補またはご推薦いただけないでしょうか。

委 員： 広島商工会議所会頭の深山委員を会長に推薦したいと思います。

事務局： ありがとうございます。只今、会長に深山委員をご推薦したいという御意見がございましたが、皆様いかがでしょうか。

委 員： 異議なし

事務局： それでは、深山委員に会長をお願いします。深山委員には会長席にご移動をお願いいたします。では、深山委員には、一言ご挨拶いただけますでしょうか。

会 長： 只今、会長にご推薦いただきました深山でございます。一言ご挨拶申し上げます。先ほど、市長のほうからありましたように、マツダスタジアムがオープンして4シーズンが経過しております、これまで毎シーズン150万人以上の皆様にご来場いただいております。これは、カープ球団はもとより、マツダスタジアムが本日お集りの皆様方を含めた多くの関係者の皆様、数多くのファンに愛されている結果だと思えます。このスタジアムが広島の魅力作りに大いに貢献しているのではないかと考えております。

本協議会は、マツダスタジアムの運営に関する重要な事項を審議することを目的に設置されたものでございます。本日は、スタジアムの運営状況や施設の利用実績などについてご報告がございます。更なるスタジアムの発展のために、皆様の忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたしまして、簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局： ありがとうございます。それでは、ここからは、会長に議事の進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

会 長： それでは、まず、副会長の推薦に移りたいと思います。副会長も委員の互選により選任することになっておりますが、私から公益財団法人広島市スポーツ協会の山根委員を副会長にご推薦したいと思います。皆様いかがでしょうか。

委 員： 異議なし

会 長： ありがとうございます。それでは、山根委員には副会長席に移動をお願いします。

それでは、これより議題に入ります。まず、議題1「広島市民球場の運営状況等」についてでございます。内容について、事務局から説明をお願いします。

事務局： 市民球場運営協議会資料の1ページをお開きください。「広島市民球場の運営状況等」についてご説明いたします。広島市民球場につきましては、平成21年度のオープン以降、平成30年度までの10年間、広島東洋カープさんに施設管理者として施設の管理をしていただいております。その収支状況ですが、まず、収入についてです。決算額は、4億9,810万5千円でございます。支出につきましては、決算額は、4億8,199万3千円であり、その内訳は、維持管理費が2億1,854万4千円と市への納付金が2億6,344万9千円となっています。収入から支出を引いた差引は、1,611万2千円の剰余金が出ておりまして、健全な運営がなされています。

次に(2)の「観戦環境の改善等」についてでございますが、これにつきましては、参考資料の2ページをお開きください。すでに、新聞報道等でご存じの方もいらっしゃると思いますが、この度、広島東洋カープさんのご負担により、JR側の席をグループ席に替えられているということでございます。これは、グループ席の需要が非常に高いということで、よりニーズに沿った改修を行ったものです。まず、(1)のコーギーテラスの新設でございますが、これは、旧ファミリーテラスとっておりましたが、床の段差を解消し、バリアフリーに配慮したものです。また、2段ベンチを設置しております。1ブース当り、7人の定員で24ブース設けられました。次に(2)のパーティーデッキ外野の改修ということで、床の段差を解消し、バリアフリーに配慮して、車椅子でもそのまま乗り入れることができるようにしたものです。20人の団体に対応した席に改修しておられます。次に(3)のプレミアムテラスの新設ということで、従前、個人席を家族やグループで利用できる団体席に変更ということで、クッション付きのシートを設置し、1ブース当り8人がけで、25ブース設けられました。次に3ページをお開き下さい。(4)としてパーティーデッキ内野の改修ということですが、従前、2つのフロアでしたものを下のフロアをかさ上げして、1つのフロアに改修されております。25人の団体に対応した席に改修しておられます。次に(5)のパーティーグリの新設でございます。バーベキュー設備を設置して、30人の団体で楽しめる席にしております。最後に(6)の鯉揚げの増設といたしまして、従前、3つのエリアでしたものを9エリアに増設したものでございます。

次に2の「今後の施設整備予定」ということで、エレベーターの増設につきましては、広島市では関連予算を市議会に上程しております。設置場所は、3塁側のスイートエントランス付近で、プロムナードというスロープの南側の付近を予定しており、20人乗りのストレッチャーを乗せられるエレベーター

ターです。これを設置するに至った経緯ですが、車椅子席とグループ席が、マツダスタジアムは非常に充実しております。そういったこともありまして、3世代のお客様が非常に多いため、高齢者やお子様連れの方達が、エレベーターを使おうとした際に、特に、開門時、試合終了時、エレベーターの待ち時間が生じてしまっています。現在、エレベーターは3基あるのですが、これでは、とても間に合わないということで、利用者の多くからも、増設要望がございますので、それに応えようとするものでございます。事業費は、1億6,000万円で、完成年月日は、来年の3月31日を予定しております。以上でございます。

会 長： 御質問、御意見がございましたら、お願いします。

特にないようでございます。

それでは、引き続き、議題2の「平成24年度施設利用実績について」から、議題5の「その他」まで、一括して事務局から説明をお願いします。

なお、議題3の「2012年カープ球団の事業実績について」は、広島東洋カープの桂顧問から、ご説明をお願いします。

事務局： それでは、議題2についてご説明いたします。資料の1ページでございます。議題2「平成24年度施設利用実績について」ということで、(1)に施設利用日数を掲げております。プロ野球興行で公式戦が68日、オープン戦が4日、ウエスタンが10日の合計82日となっています。それから、アマチュア野球で67日、イベント・その他で9日、コンコース開放が55日、雨天中止等が15日となっており、合わせて228日の稼働ということでございます。

次に、自主事業として、(2)でコンコースの開放が49日、参加人員が、13,290人となっています。それから、スタジアムツアーが64日、5,753人です。そして、社会見学が21日、2,337人の参加がございまして、合わせて、134日で21,380人の参加がございました。

次に2ページ「(3) プロ野球興行時の来場者動向」ということでございますが、これについては、参考資料の4ページをお開き下さい。ここに掲げておりますのは、平成21年度のオープン以来、毎年9月の土曜日、又は、日曜日のデーゲームの開催日に、利用者に対してアンケート調査をしております。それを年次毎にまとめて、こういった動きがあるかといったものを解説しております。まず、「2 調査結果」の性別でございまして、女性の割合が、4割この度、平成24年度は超すということで、段々女性の利用の方々が増えております。これは、一つには、球場が綺麗で、女性も行ってみたいなという感じを持たれた結果ではないかと思っております。

次に、年代ですが、30歳代と40歳代を合わせると5割以上となっております。

まして、平成 24 年度においては、60 歳代以上の方が、15%という割合になっておりまして、この 60 歳代以上の方々についても、増加の傾向が見られるということでもあります。こういった観点からも、先程のエレベーターが必要ではないかと考えました。

次に、5 ページの「来場者住所」ということでございます。平成 22 年度と平成 23 年度につきましては、県外からの来場者が 5 割を超えているということになっておりますが、この日は、両試合、両年度とも、阪神戦でございまして、阪神ファンの方は、比較的近距離にある関西地方からの来場があったのかなということで、この 2 つについては、県外からの来場が多くなっています。平成 21 年度、平成 22 年度は、広島市内の方が約 3 割でございまして、それ以外の方は、広島市外と県外ということで、広域からの集客が非常に多いという結果になっています。それから、「来場回数」でございしますが、7 割がリピーターの方達ということでございまして、10 回以上来られる方が、約 2 割いらっしゃるという結果でございします。

次に、6 ページの「野球観戦後の交通手段」でございします。自家用車については、平成 21 年度、26.4%であったものが、平成 24 年度においては、24.4%に減っております。一方、公共交通機関でございしますが、平成 21 年度、47.1%だったものが、平成 24 年度については、53.2%ということで、マイカーは減少し、公共交通機関の利用が増えているという状況が見られます。

次に「観戦人員」ですが、2 人から 4 人までのグループが約 7 割となっております。8 人以上のグループの割合が増加傾向にあるということで、グループ席の増加に対応したことも一つの要因となっております。

次に、7 ページでございします。「マツダスタジアムの評価」ということで、すべての項目において、7 割以上が「満足」「やや満足」という結果でございします。一番下の「総合的な満足度」ということで、「満足」と「やや満足」を足しますと、92%ということで、非常に、満足度の高い球場であると言えますと思います。

8 ページは、「その他（主な意見を抜粋）」しております。これについては、省略させていただきたいと思ひます。以上でございします。

事務局： それでは、「3 2012 年カープ球団の事業実績について」説明をさせていただきます。お手元の資料をご覧いただきたいと思ひます。

「(1) プロ野球入場者数」でございしますけれども、マツダスタジアムの 4 年目でございしましたけれども、本拠地球場、その他の球場の合計の入場者数でございしますけれども、158 万 9,000 人となりました。これは、前年比で 7,000 人、0.4%の増加となっております。ご支援をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

「(2) 経営状況」につきましては、これは株主総会の承認前の数値ではございますが、売り上げ高は、103 億 700 万円となっております。前年比で 6 億 5,700 万円、6.8%の増収の見込みとなっております。

「(3) 地域貢献活動」についてでございますけれども、活動の合計件数 338 件となっております。その詳細は、参考資料として、別途添付させていただいております。今後とも積極的な取り組みを行って参りたいと考えております。以上、簡単ではございますが、説明を終わらせていただきたいと思います。

事務局： それでは、議題 4「命名権について」ご説明いたします。

資料の 2 ページです。「(1) 契約概要」命名権者は、マツダ株式会社でございます。命名権の名称は「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島」、通称「マツダスタジアム」と呼ばれております。それから、命名権の名称の使用期間、契約金額、これにつきましては、平成 21 年 4 月から平成 26 年 3 月までの 5 年間でございまして、命名権料は、1 年当たり消費税込で 3 億 1,500 万円をいただいております。

次に、3 ページの「(2) 社会貢献活動」です。命名権者であるマツダ株式会社は、球場を核として地域に貢献するパートナーとして、社会貢献活動に取り組んでいらっしゃいます。

表にありますように、「ア グリーン電力購入」というのがございます。これは、広島市民球場のプロ野球及びアマチュア野球で使用するナイター証明が消費する電力により発生する CO2 をグリーン電力によりオフセットするというものであります。

次に、「イ 福祉車両の贈呈」ということで、広島市民球場の来場者が 100 万人を区切りに、福祉車両を贈呈されているというものです。平成 24 年度におきましては、4 月 20 日に 500 万人を達成したということで、「(社福)もみじ社会福祉会第一もみじ作業所」へ「マツダプレマシー助手席リフトアップシート車」を贈呈されております。同じく 8 月 24 日 600 万人を達成されたときに、「(社福)広島市手をつなぐ育成会いくせい」へ「マツダビアンテオートステップ車」を贈呈されております。

次に、「ウ 球場周辺の清掃美化活動」ということで、プロ野球シーズン中にマツダ株式会社の社員とその家族により球場周辺の清掃を計 6 回実施されてございまして、1,272 人が参加されております。

次に、「エ ヘリテージコーナーの設置」ということですが、これは、マツダスタジアムの 3 階のコンコースに広島市・カープ球団・マツダ株式会社の歴史を紹介するコーナーが設けられております。

最後に、「オ 球場の情報発信」ということで、マツダ株式会社のグロー

バルオフィシャル WEB サイト等で球場の情報等を発信していただいております。以上が平成 24 年度の実績でございまして、次に平成 25 年度の計画につきましては、先程申しましたグリーン電力購入を、広島県が今年度から販売を始められました「広島県県営林 J-VER」に変更しようという計画でおられます。その他につきましては、引き続き、平成 25 年度も継続されるということで聞いております。

次に、「5 その他」ということでございまして、先程市長の方からもお話がございましたが、広島市民球場周辺開発ということで、現在、球場東側エリアの約 2.6 ha の整備をしておりますが、昨年 9 月に「ルネサンス」スポーツクラブが開業いたしまして、市民球場の 3 階のコンコースと繋がっております。また、今週末の 3 月 23 日の土曜日には、「コストコ」がオープンいたします。そして、来年春には、分譲住宅が竣工する予定であるということです。

残る球場西側エリア約 1.8 ha ございますが、これにつきましても、集客施設等の早期整備に向けて、引き続き開発事業者との協議・調整を行って参りたいと考えております。以上でございます。

会 長： ただいまの説明について、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

委 員： 「プロ野球興行時の来場者動向調査結果」の中で、車椅子の方をよく球場で見かけるのですが、車椅子で来場される方は、どの程度利用されているのかということが、もし分かれば大体のところでいいのですが。

事務局： 平均が 1 試合あたり約 40 人という数字がありますので、それに試合数をかけて 3,000 人弱です。

委 員： 1 試合あたり約 40 人ですか。

事務局： はい。そうだったと思います。

委 員： 隣の介助する人も含めて、1 年に約 5,000 名の方が、大体車椅子席をご利用されます。

事務局： 車椅子席だけで統計を取ってしまして、一緒にグループで来られる方とか、正確な数字が取れてないのですが、その 2 倍から 3 倍以上の方が一緒に来られており、約 5,000 人くらいと聞いています。

事務局： 今の統計があるもので言いますと、車椅子の利用者、介助者を合わせて、大体年間 6,400 人。平成 24 年度は、個別に言いますと、車椅子の利用者が 2,556 人。それから、介助者が 3,900 人というデータが出ております。

委 員： それは車椅子席ですか。

事務局： 車椅子席です。

委 員： 市議会の定例会に先程 3 ページのことが上程されましたが、やはり数字が非常に後押しするところがあると思います。私も障害を持っている車椅子を利用している学生を連れていったときも、どこかにあればいいなと思ったことがありましたので、今現在は、車椅子で利用できる席はいくつあるのですか。

事務局： 142 席です。最大で 300 席分のスペースがあります。

委 員： 今年また増えるということですね。バリアフリーの席が、グループ席が。

委 員： グループ席は、そうですね。そういう意味合いでは、車椅子で入れる席が増えるということです。只今、説明したのは、車椅子席として、車椅子の人だけ優遇する席があると理解してください。それ以外の一般の席にも車椅子利用者も入れます。

委 員： とてもありがたいですね。

委 員： エレベーターは本当にできればいいなと。

委 員： 私も期待しております。それと、もう一つは、私が言いたいのは、緊急のことが起きたときに、今のエレベーターでストレッチャーが乗らないんです。そういう意味では、この度のストレッチャー対応のエレベーターは非常にありがたいですね。

委 員： 今、車椅子の方のことで随分話が出たのですが、駐車場ですよ、よくハンディーキャップのある方は、非常に駐車場が良いところに確保されていると思いますが、球場でハンディーキャップの方の駐車場は何区画くらいあるのですか。

事務局： 市民球場の西側に今暫定的に駐輪場みたいなところがありますけれども、その北へ駐車場を設けておりまして、そこにブースの広い車椅子の出入りがたやすいブース、駐車場を 40 台設けております。

それから、スポーツ施設の「ルネサンス」に球場用として車椅子用駐車場を 8 台分確保していただいております、合わせて 48 台です。

委員： それをホームページなどで知らせるというようなことはしているのですか。

委員： 球団のホームページに掲載しています。それと、もう一つ、車椅子の方の駐車場の足りない部分は、ホスピタリティスタッフというのが、介護とか車椅子の介助とかを学んだ子達を常時 20 名つけて、車椅子の方をお出迎えしたり、球場の席までご案内しております。

委員： 処遇は非常に素晴らしいですが、ここをいかに知らせるかということも大事だと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

会長： その他ありますか。

委員： 今皆さんの協力で入場者数も増えている中で、7 ページの「マツダスタジアムの評価」というところなんですが、「満足」が「座席の快適性」であるとか、スコアボードはどうしても見えにくいところが出てくるんでしょうけれども、「座席の快適性」というのは、なぜその満足度が少ないのですか。「やや満足」というのが、32.4%と多いので、何かちょっとしたことが、「満足」に結び付くのではないかと思うので、その辺の分析もしていただければ、より満足度が高くなるのではないかと思います。よりベストにするためには、こういうところの視点というのも改善する余地があるのではないかと思います。

事務局： クッションとかそういうようなものも可能性にありますよね。

委員： 先程ご説明いたしました、初めての試みですが、屋外の球場でクッションを付けた座席を今回やってみたんですけれども、今回これがうまくいけば、こういうタイプの席ですけれども、一般の席というのは、中々ちょっと難しいですけれども、こういう席というのは、お年寄りとか家族 3 世代で来られたりする席ですから、今後、すごく人気のある家族の方達がよく来られる、コカ・コーラテラスシートなどにも、チャンスがあれば、改善しながら、よ

り快適な席にしたいとは思っています。

委員： 2点だけ。1点目は、参考資料の9ページから「カープ球団の地域貢献活動」というのがありますが、地域交流の中で、子供達を意識した交流が行われているというのが1つと、あとは、福祉関係の取り組み、あとは、福祉を通じて、優しいカープ球団であるというそんなところも見受けられると思います。そういった地道な活動が、将来的には、スタジアムとか球団に対する愛着や親しみにつながるので、こういったことは積極的に取り組んでいただきたいなと思います。

もう1点は、コストコとか周辺のいろんな集客施設の配置ですが、これまで、マツダスタジアムは1つの集客施設であったものが、野球だけではなく、いろんなお客さんが集まり、地域の街の中の施設ということで築いていくと思います。将来的には、駅前のBブロックでありますとか、Cブロックの再開発とか、地域の開発の中で球場というものの役割も出てくるのだと思います。開発に伴い、交通渋滞を起こしたり、いろんな地域の街への影響というのがあると思いますので、その点の課題を解決して、観客動員の増加に繋げて、観戦客を街の周辺への広がりにも繋がるという、そういう視点があればいいなという気がします。そうすれば、あの地域は素晴らしい地域になるのではないかと思います。

委員： 施設の利用日数の中に、アマチュア野球が67日ありますが、アマチュア野球で利用する際にウォーミングアップをするとか、広場が欲しいなという声がよくあるんです。キャッチボールであるとか、駐車場の一角でもキャッチボールをするスペースが欲しいですね。無理かも分かりませんが、そういう要望もあるということをお聞いていただければと思います。

委員： 高校野球のときは、駐車場の一角を使っただきキャッチボールを行っています。

事務局： 大きい大会の時は、来場者の皆様にもご協力いただいて、先ほどの説明のような利用を行っています。小さい大会で利用される場合には、中々難しい状況になっているのは、確におっしゃられる通りです。

委員： 150万人を超える観客動員数というのは、大変なことだと思うんですね。カープ球団さんも努力されていることなんですけれども、私は、広島市が自治体としてどのように努力をしているのかを、ちょっとお聞きしたい。球場に行くと、例えば、三次市とか広島県とか、職員の方が本当に何百人として、

協力で来られているわけなんですね。そういうのを、広島市はもちろんスポーツ推進計画なんかで、バックアップするようにしていますけれども、そういうのではなくて、市が、市の職員の方が、皆でどのようなバックアップをしているのかというのを知りたいと思うのですが。サンフレッチェもそうですが、カープもやはり自治体の一人一人が、どのように協力するかというのを見せる形にしないと、やはり市民というのはついてこない。その辺どういうふうなバックアップをされているのか、広島県や他の自治体は知っているのですが、ちょっと広島市が見えてこないで、その辺を教えていただきたいと思います。

委 員： 正確な数字は覚えてないんですけども、広島市は大得意様で、非常に多くの入場券を買っていただいております。それから、応援デーで市の職員も県と一緒にやっております。ただ、雨が降りましたので、去年は残念でしたけれども中止になりました。

委 員： 駐車場、コストコで今非常に問題になっているということですが、この球場周辺、若しくは、Bブロック、Cブロック、これらが予定通りいったとしても、駐車場が決定的に足りないという感がいたしますので、駐車場が確保できれば、皆さんもされているでしょうけれども、何とか、もう少し駐車場対策のアイディアがないものかと思います。

会 長： 事務局から何かございますか。

事務局： 特にないです。

会 長： それでは、以上を持ちまして運営協議会を閉会いたします。
ご協力ありがとうございました。

議事録署名者

深 山 英 樹